

国語科学習指導案

授業日時 平成30年8月27日(月)第5校時
 授業学級 2年A組 男子19名 女子21名 計40名
 授業会場 2年A組(301)教室
 授業者 _____
 指導教員 _____

1、単元名 方言の世界を楽しもう

2、主眼

自分の住む地域の方言や日本各地の方言を聞いたり読んだりする場面で、方言で書かれた文章を聞いたり読んだりする活動を通して、方言の持つ独特の雰囲気や良さに気付くことができる。

3、本時の位置

全1時間中第1時

4、指導上の留意点

・映像を使って方言を見せることで、方言になじみがない生徒でも方言に親しむことができるようにする。

5、展開

過程	学習内容【学習形態】	予想される生徒の反応や意識(◎)	支援(・) 評価	時間
導入	1 方言クイズをし、今回の授業のテーマに出会う。【全体】	◎全然わからない…。 ◎同じ長野県なのに自分の周りでは聞かない方言ばかりだな。 ◎自分の地域にはどんな方言があるだろう。	・教師自身の出身地の面白い方言をいくつかあげ、クイズ形式で意味を当てるような活動をする中で、方言について興味をもてるようにする。	7
	学習問題：方言にはどのような雰囲気や特徴があるのだろうか。			
	学習課題：さまざまな地域の方言を聞いたり読んだりしてみよう。			
	2 自分の地域にはどのような方言があるのか考え、学習シートに書き出す。【個人・全体】	◎おばあちゃんが疲れた時に「ごしたい」と言うよ。 ◎寒い日にお父さんが「今日はとてもしみるな」と言っているのをよく聞くな。 ◎共通語とは全然違う言い方だな。 ◎日本にはいろいろな方言があるな。方言と共通語ではどんな違いがあるんだろう。	・自分の生活を振り返りながら知っている方言とそれに対応する共通語を尋ねることで、方言をあげられるようにする。 ・旅行や遠くへ行った時の経験を尋ねることで、自分が住んでいる地域以外の方言も挙げられるようにする。	10
	3 さまざまな地域の方言で書かれた文章を聞いた後、実際にその文章を読んで方言を声に出してみる。【全体→ペア】	◎この地域の方言はなんだかかわいらしい雰囲気があるな。 ◎この県の方言はとても柔らかいな。 ◎共通語を見ないとなんて言っているのかわからない…。 ◎方言って意味がわからなくても、柔らかくて、なんとなく優しい感じだな。	・さまざまな方言で書かれた短い文章を最初に教師が読み上げ、それを聞くことで方言の雰囲気や特徴をつかめるようにする。 ・全体で文章の音と意味を確認した後、ペアになり方言と共通語をそれぞれ音読することで、共通語と比較しながら考えられるようにする。	15
	4 方言にはどのような雰囲気や特徴があるのか学習シートにまとめる。【個人→全体】	◎方言は共通語にない柔らかさを持っているな。 ◎なんだか安心するような響きがある。 ◎その地域の人柄まで表している感じがする。 ◎僕も普段はあまり使わないけど方言を大切にしたいな。	・さまざまな方言を聞き比べたりした経験から、方言の持つ雰囲気や特徴を尋ねることで、本時のねらいに迫れるようにする。 方言の持つ雰囲気や特徴を自分の言葉でまとめ、さらに方言の良さに気付いているか、学習シートへの記入で評価する。 ・方言の持つ雰囲気や特徴をうまく掴めない生徒には、具体的な会話の場面などを例として挙げることで、それらに気付くことができるようにする。	10

